

いわて平泉米だより

令和6年6月号



中干しは乾燥のし過ぎに注意し 適度な管理を行いましょ

6月に入り、圃場の水管理が大事な時期になりました。今回は中干しについて紹介します。

① 中干し実施の目安

中干しの実施は、圃場を観察し、1株当たりの茎数が25本程度になっていることを確認しましょう。中干しを行うと稲体の窒素吸収が抑制され、分けつしづらくなるからです。

6月25日ごろまでに中干しを開始しましょう。目標穂数の8～9割が確保される時期が平年6月25日ごろです。なお、今年は平年気温を上回っているため、現在の状況が続けば早めの作業になると予想されます。

② 中干しする際の注意点

中干しは田面がカラカラになるまで干すわけではなく、田面に細かい亀裂が生じ、軽く踏んで足跡が付く程度が最適とされています。

中干しの実施によって、根の伸長促進と健全化を図ることができます。適期に中干しを実施しましょう！

お祭り会場で金色の風をPR! ～平泉町・春の藤原まつり～

5月3日に平泉町で開催された春の藤原まつりにて、岩手県ブランド米「金色の風」を販売しました。今年は中尊寺金色堂建立900年の節目ということで、特別なパッケージを作成し、昨年より多くの方の手にとってもらいました。



観光客に「金色の風」をPR



中尊寺金色堂建立900年を記念した限定パッケージ